

USEFUL PRINTING INFORMATION

印刷に関する用語、こぼれ話、業界のトレンドなどの情報を毎号ご紹介していきます。

SEZAX

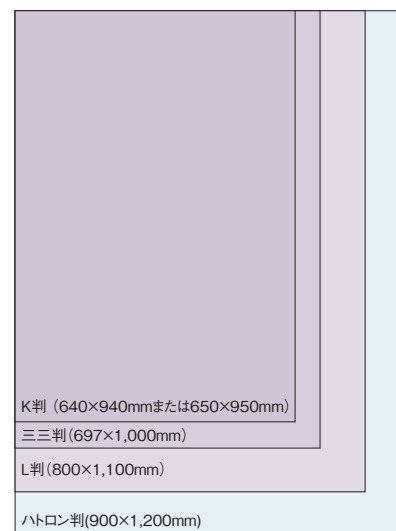
M O N T H L Y **vol.142** U P

他にもまだある、印刷原紙。

菊判、四六判以外にもある、 さまざまな印刷原紙。

MONTHLY UP vol.134にて、A系・B系それぞれの仕上げりサイズの印刷物を刷る際には、A本判、B本判の用紙の他に菊判、四六判の原紙を使うとご紹介しました。実は原紙はこれだけではありません。今回は、その他の原紙について、名前の由来を含めてご説明していきます。

印刷原紙の菊判についてはご存知の方も多と思います。新聞用途として普及し、徐々に他の印刷物にも広がっていった用紙なのですが、この菊判が使われる前は新聞の印刷には三三判が使われていました。それでは三三判の他、包装紙などによく利用されるハترون判の名前の由来についてご紹介していきましょう。



三三判 (697×1,000mm)	もともとは明治時代に、新聞用途としてドイツから700×1,000mmの用紙が輸入されていました。その後イギリスから類似サイズの697×1,000mmの紙が輸入され、利用されるようになります。これが和寸法で二尺三寸×三尺三寸。縦横とも端数が三寸であることから、三三判と呼ばれるようになりました。
ハترون判 (900×1,200mm)	JISによって定められている5種類の原紙のひとつ(他はA本判、B本判、菊判、四六判)。包装紙や封筒用紙等によく使われる用紙サイズで、ドイツ語のハトロネンパピア(ハترون紙=ハترون紙)に由来しています。昔、弾丸の薬莖(やっきょう)を包む目的で作られ、耐久性があるのが特長です。

ここからは厚紙、板紙の原紙をいくつかご紹介します。板紙系の用紙は型抜き等の後加工を伴うことが多く、加工が容易にできるよう少し大きめです。化粧箱やパッケージ、絵本、伝票類の裏表紙など、さまざまな用途に応じた多彩なサイズの原紙が用意されています。

L判 (800×1,100mm)	四六判より少し大きめのサイズの原紙。Largeの頭文字「L」で呼ばれています。またSmallの頭文字をとったS判(730×820mmまたは740×830mm)もあります。
K判 (640×940mm または650×950mm)	菊判を少し大きくしたサイズ。菊判の「K」が名前になっています。
その他色々な 厚紙・板紙原紙	ワイシャツの箱用のワイシャツ判(Y判:610×1,060mm)、カッターシャツ用のカッター判(C判:610×970mm)、ブラウス用のブラウス判(560×950mm)、開襟シャツ用のオープン判(O判:560×640mm)など衣料品の包装箱用や缶詰、食品類の箱に使われる食品判(650×750~870mm)、ワインのケースに使うワイン判(酒判:680×940mm)、玩具判(820×1,110mm)などもあります。

印刷物によく利用される菊判、四六判以外にもさまざまな原紙サイズがあることが、おわかりいただけたと思います。次号ではレターサイズ、タブロイド判などについてご紹介していく予定です。



No.I290-ISO/IEC 27001
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



SEZAX

セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511 (代)
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル6F 5F	TEL 03 (3400) 9211 (代) TEL 03 (3400) 9401 (代)
<input type="checkbox"/> 関西コア	〒530-0047 大阪市北区西天満5-8-8 VEGA VI高橋ビル別館803	TEL 06 (6131) 0410 (代)
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516 (代)

株式会社セザックスクリエイティブ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970 (代)

株式会社セザックスドキュメントソリューションズ

〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7 TEL 03 (3758) 2533 (代)

この小冊子は森林認証紙を使用しています。